

令和4年度第1回 伊那市総合教育会議会議録

- ◎招集年月日 令和4年6月21日（火）
◎開催日時 令和4年6月30日（木） 午後1時30分～午後3時15分
◎場所 伊那市役所 庁議室
◎出席者 白鳥市長、笠原教育長、北原職務代理者、田畑委員、原田委員、黒河内委員
◎欠席者 なし
◎出席職員 馬場教育次長、宮下学校教育課長、北林生涯学習課長、早川市誌編さん室長、小島社会教育指導員、福興指導主事、酒井指導主事、伊藤教育総務係長

1 開 会

馬場次長

それでは伊那市総合教育会議を始めます。はじめに市長からご挨拶をお願いします。

2 市長あいさつ

白鳥市長

大変暑い日が続いています。これからまた夏休みということで、子どもたちも楽しみにしています。一方、コロナによって学習が遅れている部分もあるかもしれません。夏休みを使ってしっかりとカバーできるようお願いします。

今日の協議事項は学校登山ということで安全第一としながら、普段行くことがない高山帯で初めて見る景色や植物、そうしたものが自分たちの郷里にあるのだということも知ってもらいたいということで、たくさん子どもたちが行けるようお願いします。

先日、日本テレビの ZIP! という番組があり、伊那小学校の移住定住について紹介されました。小学校の取組み、新産業技術等が紹介されています。先日、東京で要望活動、情報交換で行ってまいりましたが、多くの方がご覧になっていました。時間割がない学校への驚き、そうした学校で子どもを学ばせたいという親が増えてきました。中には受験勉強で良い大学を目指すことが本当にいいのかという皆さんもあり、これからの教育はどうあるべきか、改めて考える時期に来ていると思います。その一つの選択枠が伊那小学校の総合学習であり、これからの指導要領に出てくる探求の先駆けです。伊那小学校の自然科学の学習、小規模特認校の新山小学校の取組み、高遠北小学校の芸術に関する取組みなど、伊那市の姿は注目されていると思います。

この総合教育会議が実りあるものとするとともに、新しい時代のありようを議論していかなければいけないと思います。今日もまた闊達な意見が出ることをお願い申し上げまして、挨拶とします。よろしくお願いします。

馬場教育次長

ありがとうございました。続きまして笠原教育委員長からお願いいたします。

3 教育長あいさつ

笠原教育長

今年度初回の総合教育会議です。子どもたちの生活や市民の皆さんの学びに近いところでの課題について、市長が私共と意見交換をしていただける、私どもにとっては大変ありがたい機会となっています。例えば学校や相談室など現場が直面している課題について市長と共に考えることができる、大事な機会と感じています。感染症の大きい影響を今まで受けてきていますが、本年

は運動会、またそれぞれの学校の宿泊行事なども計画を修正しつつ、ほぼ予定通り取り組んできたところです。

本日は、まほらいな市民大学、学校登山に関わる項目について意見交換してまいります。成果を整理しながら、課題を解決していく取り組みについて考えていければと思います。よろしくお願いします。

馬場教育次長

ありがとうございました。それでは協議事項に入ってまいります。ここからの進行は市長からお願いいたします。

4 協議事項

(1) 令和4年度伊那市教育委員会運営方針について

白鳥市長

最初に運営方針、教育委員会の運営方針についてお願いします。

笠原教育長

例年、この機会に、教育委員会の運営方針について取り上げています。本年度も基本的には例年に引き継ぐ形ですが、このことを大事にということをお願いしながらお話をさせていただきます。

教育理念に関わり、コロナ後も見据えながら、こういう力を子どもたちにつけたいということを書かせていただいております。

次に、基本目標の「歴史と文化を未来につなぐ、心豊かな人を育むまちづくり」の具現以降に関わっていきますが、市の政策や教育の営みが1人へ確かに届く、このことを大事に考えていくものです。

次に、本年度はコロナ禍にあって、学びを止めない、給食を止めない、この2つを並べて書かせていただいております。この事は子どもの福祉にそのまま重なってくることではないか、と私達は考えています。

教育委員会の取り組みでは、従前どおりの歩みを旨とし、です。そして各課については、「相談」という言葉をいつも入れておりますが、子どもの命を守るための学校の見守り相談機能の充実としており、貧困、ヤングケアラー、そういった課題をそこに込めています。また、暮らしの中の食、キャリア教育の推進を挙げています。裏面では、週末の部活動の地域化に向けた検討を進めます。

続いて、生涯学習の取組は、最初に公民館文化施設の常設展と企画展等ですが、日常的・本質的な教育活動、文化的活動という言葉を書かせていただいて、それが大事だという位置付けをつけています。文化財保存活用地域計画の策定、新たな成人式のあり方の策定と周知に重きを置いています。

教育長と教育委員のあり方として、新型コロナウイルス感染症の対応は今も続いておりますが、学校もそれぞれ工夫努力をしています。そうした取組を支えながら、子どもたちの学び、そして日々の生活を作ってまいりたいということで、まとめています。以上、よろしくお願いします。

白鳥市長

ご質問、ご意見あればお願いをします。

白鳥市長

貧困やヤングケアラーについては、先日伸和コントロールズさんから多額の寄付をいただいた

く中で、別枠で教育現場や貧困、そうした方に応援をしたいということです。財団や、例えば修学旅行に行けない子どもたちへの支援、大学進学の奨学金基金でも良いし、会長さんはお手伝いできるところをしっかりと応援をしたいとのことでしたので、こういう制度や支援があったらありがたいという提案があれば出してもらい、検討してもらえればと思います。

この会社は「利益の数％は地域に還元する」という方針で、そうした子ども達へとおっしゃっているのです、打ち合わせをしたいと思います。

田畑教育委員

いわゆる収益性が高くこの地域で大きい企業・団体もある。そこまで大きい企業ではないが、出せるお金も限られる中で、社会貢献で、収益の何％かをこの地域の未来の自分たちの企業を支える人材のためにという思いも含めて、間口を広くその受口ができ、個人的に出したい人も貢献できると良いと思います。

白鳥市長

食材の値上がりがどんどん進んでいる。学校給食も給食食材に対してはどうか。

宮下学校教育課長

給食費は5%上昇まで対応できるように予算を考えています。それを超えた場合は、国の支援、交付金の関係もありますので、様子を見ながら考えたいと思っています。一方で本当にこの物価が固定した場合には、給食だけが安いという事は別の話になりますので、本来の給食のあり方について見直す時期が来るかもしれません。

白鳥市長

そういう考えにするのか、給食費については上げないとするのか、もう結論を出すべき時期ではないかと思う。5%の先にどうするのかを考えた場合、6月補正で当面は大丈夫か。

宮下学校教育課長

はい。

白鳥市長

生涯学習の公民館活動では、モバイル公民館ができるようになる。明日、モバイルオフィスとして登場してくる。モバイル公民館として活動の中でこんなことを具体的にやりましょうという話はあるけれども、サービスを踏み込んで、どこの地域ではこういうことをやりたいなど、担当と打ち合わせをして進めてほしい。

北林生涯学習課長

担当課と打ち合わせでは公民館の設備を整える段階の話をしています。公民館としての活用は、議会の質問で出ているスマホ教室やパソコン教室、そういったものについて、モバイル公民館を使ってどうできるか、という話をしているところです。地域の希望も大事と思っていますので、これから希望をとっていきたい。

白鳥市長

私は、昔見た懐かしい映画を見たいと思う。どういうリクエストがあるのかをいろいろ聞いてみたらどうか。生涯学習の中で、新しいスタイルの公民館が動き始めるので、準備を進めてください。

原田委員

子どもの話に戻りますが、子どもたちの支援では確かに金銭的なことはあるのですが、業界的な話ではいわゆる職人さんたちが減っていて、いろんな工事をお願いしても、職人がいないため出来ないことがあるので、職人を育てることも必要になると思います。確かに学校に送り出すというのはあるかもしれないですが、実際にその技術、そういうものはどうだろうかと漠然とないところがあります。

白鳥市長

これも深刻な問題で、大工さんがいない、すごく減っている。例えば家を作るときの型枠工、鉄筋工など、必要な技術を持った人たちがいなくなっているし、ますます減っていくと思います。伊那市よりも大きなレベルで考えなければならないことですが、あまりそういう議論になっていません。

建設業界の皆さんと話す中で、例えば工科短期大学の中にそうしたコースをつくってやりましょうという話もある。深刻な状況で建設関係の皆さんとよく話をしているが、具体的などころまでたどりついていないと思います。

田畑委員

市教委の範疇ではないかもしれないが、伊那北と弥生の合併の話があり、敷地は伊那北高校で調整されており、今の小学校4年生が第1期生として入る予定となっています。

今後、普通科だけではなく、他にも統合が起きてくる中で、上伊那農業高校では入学した後にコース選択で選べる流れがある。今後、その技術新校が展開される中で、有用な職業を単位として学んでいけるようなコースを設置してもらえると、その可能性が増えてくると思います。

白鳥市長

同じように料理人も減っている。なりたい職業はパテシエが多い。日本料理の料理人がいなくなり、本来必要なところにいるべき人たちが減ってきている。

田畑委員

地域にスペシャリストがいるうちに学べて、社会に出るとその人に繋がられて、そこで働きたい、ということが伊那市の中で出来ている間にそのルートが作れないと難しい。

原田委員

高齢化が進み、止めてしまうと、後継者がいなくなる状況にあります。

白鳥市長

信大農学部卒業して大工になった方が何人かおられる。具体的にそういう職業を選択してもらえるようキャリアフェスの中でもできると良い。

田畑委員

そういう意味では伊那小学校は可能性が夢のように広がる教育をしてくれていて、それが中学、高校へ行った瞬間にしぼんでしまう。伊那小学校で学ばせて、その後、他の地域へ移ってしまうことを心配しています。

白鳥市長

本当大きな問題だと思うので、それを具体的な形をとって議論できればと思います。他はどうでしょうか。

黒河内委員

伊那市にとって一番大きな問題は人口が減っているということ。子どもの数も生まれる数も減っている。その原因は20歳前後の女性が外へ出て行って戻ってこないことがあり、女性が戻って何をしたいかという、やはり生活の場所で仕事が見つかり、その仕事が今後のキャリアに繋がるような仕事がないから、どうしても外へ出てしまう。その解決が大事だと思います。

生涯学習課の「市民大学」や「成人式」は20歳前後の人たちにとって大事で、成人式は伊那市とその世代の若者が接点を持てる場でもあり、伊那市にこんな働き方働く場所があるということをしつかり伝えていく機会であると思います。

市民大学受講生の平均年齢は70歳、リタイアした後に学ぶ場になっています。これから人生100年時代で次々と新しい仕事を見つけていく、ITも学んでいく、子育てしながらでも働くための技能を身につけるようなスキル、それらも生涯学習と広く捉えれば、市民大学のあり方が変わっても良いと思います。それが学べるなら伊那に戻ろうとなる、ここがポイントのように思います。

白鳥市長

女性の皆さんは、伊那市のどんなところに働く場所があるのか知らない。企業には女性が帰ってきてでも働く場所が無いようなホームページではなく、これだけ働けますよ、というものを作ってくださいと話しています。今は男性と女性という分け方の募集ができないので、写真で上手に発信するなどお願いしています。

また、Zip!でも照会された伊那小学校では、今年30数名移住してきている。流れが強くなってくると思うので、フォローして定着させることが必要だと思います。

田畑委員

キャリアフェスは中学生に定着していて、社会に近づくようなことをやっています。最初に実行委員を務めた子たちは高校3年生で、大学行ってもキャリアを研究して戻ってきて、伊那市に貢献したいと思っています。ある意味心強いですが、中学校の時にそう思い、高校生の時には地元の人と出会う機会はなかなか実現できてない。20歳のときに戻ってくる、その流れの中で企業に出会えるギリギリのところのキャリアフェスがあると、中、高、成人の流れで繋がる。そういう流れが作れると面白いと思います。

白鳥市長

伊那市のMRスクエアを見てもらうとわかりやすいのですが、メタバースに具体的な動きがあり、その先駆けとして移住定住のメタバースの世界を作りました。日本中からアクセスがあり、暮らし方、学校の授業、農家、自然などで入ると、自分の行きたいところに行って360度で風景がわかるものです。

大きなテーマですが、その基本はこの方針です。それをよく理解していただいて、さらに課題はいっぱい見えていますので、具体的に実行していくということをお願いをしたいと思います。

(2) 市民大学の運営について

白鳥市長

それでは、次に市民大学について、お願いします。

北林生涯学習課長・二木社会教育指導員から説明
(い〜なチャンネル放映)

白鳥市長

い〜なチャンネルの活用ということで、今までは画面に「まほらいな市民大学生募集」という文字が出るだけのものでしたが、学生の皆さんが出てきて、やっていることがわかっていけば、学生も増えてくると思います。とてもいいと思います。皆様から何かアドバイスとかあればお願いします。

白鳥市長

学生が減ってきているのはコロナの影響もあるのでしょうけれども、一定数以上の方が参加されるように工夫をしてもらえればと思います。

(3) 学校登山について

白鳥市長

次に学校登山をお願いします。

福與指導主事から資料の説明

白鳥市長

それぞれ工夫をしており、宿泊が取れず日帰りになっているところもある中で、実施ができるということはありがたいと思います。今年 8 月から南アルプスの馬の背ヒュッテも使えるようになり、収容人数は 100 人。今まで人数的に大変だった学校も、馬の背ヒュッテと仙丈小屋を使えば行けると思います。来年以降、そんなことも頭に入れていただけると良いと思います。

登山の案内人と付き添いの医師と看護師の金額が異なっていますが、相場が決まっているわけではないのですか。

福與指導主事

それぞれ頼むところによって金額が違うようで、大学病院の医師にお願いするなど、一律いくらという線が無いように聞いています。

白鳥市長

医師はそうかも知れないが、看護師は決まっていると思います。交渉で決めるよりむしろ、この料金と決めた方がよいと思います。

福與指導主事

歩いてガイドするのか、ロープウェイを使って千畳敷からガイドするのか、日帰りなのか、1泊2日なのか、というところでも料金が違ってくるかと聞いています。

白鳥市長

料金設定は一律にした方がよいと思うので、ガイド組合とも話しをした方がよいと思います。

北原職務代理者

今も、広域消防組合から職員を出していただいていますか。

福與指導主事

消防署からも出していただいています。全ての学校から申請を出して同行いただいています。春富中学校が消防士 1 人ついていますが、人数が足りないのでボランティア 3 人に入ってください計画です。

高遠中学校では、仙丈までは無理でもこもれば山荘から長衛山荘までというコースであれば行ける子もいるということで、予備登山で自分の体力を確認しながら最終的に本人の希望でコースを決めることにしています。

職員の配置は課題であり、学校行事で配置できる人数は学級数掛ける 2 + 2 人で、コースを増やせば増やすほど人数が必要となります。今回、伊那中学校は夏休み中に行うことから、他の学年の職員を 2 人使ってできます。逆にシーズンであり、山小屋が集団を受け入れてくれるかの課題があります。

白鳥市長

馬の背ヒュッテや仙丈小屋であれば、地域の子ども優先で、一般は受けないとしてもよい。

笠原教育長

計画では、雷の心配があるかもしれないが、非常にいいところへ予定を入れていただいている。高遠中学校では学校の規模が小さくなり、教員数が減っていて、潤沢とは言えないので、先生方の工面が難しくなっている。

白鳥市長

それを同じ市内の中学校の先生たちで助けあうことはできないか。

笠原教育長

あまりできません。

北原職務代理者

コロナの関係もあって、こういった形になっていると思います。

私はちょっと古い考え方なので、本当に山に向かって、大自然に向かって、美しさとか雄大さを満喫し、それから共に助け合ったりするところに大きな意味があると思います。コースに分けることは今までも若干ありましたが、基本的には行くことを前提として考えた方がよいと思います。最初から希望で分けると、子ども自身が自分を値踏みしてしまう、また費用を考えたときに泊でなければ安くなるなど、家庭のことも心配することもあります。基本はこうです、でも予備登山したときに自分に合った行き方があります、の方がよいと思います。

白鳥教育長

高遠中学校のこもれば山荘から長衛山荘というのは、普通でもできる話であり、せめて栗沢山など、もう少し楽なコースを選択することは大事ではないかと思います。バスで行ってフラフラしても学校登山にならないので、考える余地はあると思います。千畳敷の散策コースも同じで、木曽や御岳が見えるところまで行くこともできるので、そのくらいはすべきだと思います。

酒井指導主事

コロナの状況では難しい面もありますが、以前、伊那中学校で 4 コースに分けて実施した話を聞いたことがあります。①歩くのが基本ですが、②ロープウェイで上って歩いて下る、③歩いて

登ってロープウェイで下る、④ロープウェイで上って下りるコースを設定し、子どもたちに最終的に選ばせたようです。その結果、ほぼ全員が山小屋に泊れたことはとても良かった、子どもたちもとても喜んだし、親御さんも無理かと思っていた子が、他の子たちと一緒に泊まれる生活ができて、とても良かったという感想があり、そういうやり方もあるんだなと思いました。

工夫によっては、安全に、山頂まで連れて行くってことはできると思います。

白鳥市長

いい話ですね。本当にみんな子ども達、頂上へ連れて行きたいのは同じ。参考にしながらということですね。他はどうでしょうか。

白鳥市長

学校登山では、基本的には山へ登るということを確認していただきたい、やり方には、できる方法があると思いますので、今度はこの校長先生にもそうしたような形でお願いしたい。また、北沢峠をプラプラ歩くのはちょっと考えてもらったらいいかなと思います。

福與指導主事

そこは、どんな子どもたちを想定しているかもあるかと思うので、そんな話を出しながら学校と調整して考えます。

白鳥市長

栗沢山や仙水峠まで登山道を修理しました。ガイドの料金は、ガイド組合と話しをしておきます。料金設定を一律にして欲しいということで、先生については難しいかもしれないですね。今回よく先生見つかりましたね。

福與指導主事

毎年お願いしている繋がりがあります。また今年もということで見つけたり、前年の内にお願ひしたり、一緒に山登りながらも先生お願いします、という話もあると思います。

酒井指導主事

伊那小学校では、事務の先生が毎年頼まれて、無償のボランティアで、年休とって行っていました。

白鳥市長

はい。ありがとうございました。

5 閉 会

馬場教育次長

次回は9月の予定です。議題についてはまたご相談いたします。本日は大変ありがとうございました。